

川内港



川内港は、鹿児島県の北西部に位置し、東シナ海に面し、北薩地域の海上輸送の拠点となっています。港周辺には、エネルギー関連企業が、また港湾背後の内陸部には製紙工場や電子部品工場などが立地しており、紙・パルプの原料及び製品、原木などの内外貿易貨物を取り扱う物流拠点として重要な役割を果たしています。

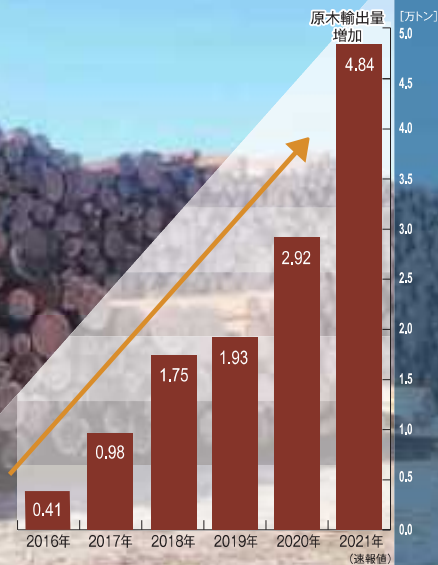


国際物流ターミナル整備事業

イメージパース

北薩地域の木材輸出拠点をめざす

我が国の木材輸出は増加傾向にあり、川内港においても木材輸出が増加しています。現在、川内港で原木運搬船に使用されている原木運搬船は岸壁水深の関係から入港の制約を受けています。唐浜地区において新たに岸壁等を整備することで、林産品の輸出货量増加に伴う船舶の大型化への対応が図られ、効率的な海上輸送及び地域の林業の国際競争力強化に寄与することを目的とした事業です。



資料) 港湾統計(年報)「国土交通省」

